

23-24年度補助金管理セミナー

2023年1月28日(土) TKP ガーデンシティ千葉にて23-24年度補助金管理セミナーを実施しました。



会場と ZOOM のハイブリッド会議で会場出席者132名、ZOOM 出席者106名の参加者が集まり行うことができました。

司会進行は財団資金管理・寄付推進委員会委員長 堀内正人により進められました。



セミナーの開催にあたり、ガバナー小倉様よりご挨拶がありました。



ARRFCの梶原様よりご挨拶がありました。



ガバナーエレクトの鶴沢様よりご挨拶がありました。



13:30 ローターリー財団統括委員長挨拶
 ローターリー財団統括委員長 漆原 摂子

2022-23年度 国際ロータリー第2790地区
 補助金管理セミナー

～補助金の変遷～

2023. 1. 28 (Sat.) TKPガーデンシティ千葉
 ローターリー財団統括委員長 漆原 摂子

- 1905年 ローターリークラブ創設
- 1917年 国際RC連合会(後のRI)会長
 アーチ・G・クランプ
 国際大会で寄付による基金を提唱
 ⇒26ドル50セントが集まる
- 1928年 基金が6,000ドルに
 ⇒ロータリー財団として独立した別機関となる
- 1930年 ローターリー財団初の補助金0ドルが
 身体障害児童保護国際協会へ寄贈
- 1947年 ポール・ハリス逝去
 ⇒追悼基金が130万ドルに達する
 初の財団プログラムとして
 「高等教育のための奨学金制度」開始



- 1951年 アーチ・クランプ逝去、基金300万ドルに
- 1962年 RI 世界社会奉仕(World Community Service, WCS) 提唱
- 1965年 R財団の3つの新しい補助金制度
 特別補助金/研究グループ交換(GSE)/技術研修補助金
- 1978年 保健、飢餓追放及びび人間性尊重(3-H)補助金
- 1979年 3-Hプログラム第1号 フィリピンでのポリオ予防接種
- 1985年 ポリオプラス/大学教員のための補助金
- 1998年 1年限りのプログラム「子供達のための機会補助金」
- 1999年 ローターリー平和センター創設
- 2003年 地区補助金・個人向け補助金制度スタート
- 2013年 財団新補助金プログラム「未来の夢計画」実施



- <変更前>
- 国際親善奨学金
 - 特別補助金(マッチング・grant)
 - 研究グループ交換(GSE)
 - 技術研修補助金
 - 3-Hプログラム補助金
 - 地区補助金
 - 大学教員のための補助金
 - 個人向け補助金
 - 地域オリエンテーションセミナー補助金
 - ボランティア奉仕活動補助金
 - 文化研修のための国際親善奨学金
 - 低所得国のための国際親善奨学金

- <変更後>
- 地区/グローバル補助金
 - グローバル補助金
 - グローバル補助金職業研修チーム(VTT)
 - “
 - 地区/グローバル補助金
 - 地区補助金
 - 廃止⇒地区/グローバル補助金で検討
 - “
 - “
 - “
 - 廃止
 - “



2022年2月 ウクライナ侵攻
 ⇒ウクライナ支援のための災害救援基金を設定

当地区では賛同するクラブから
 総額約1千万円の義援金が寄せられる

全世界からのこの基金の総額は1500万ドル以上
 ⇒ウクライナ以外の地区でも2万5千ドルを上限として、
 ウクライナ支援のプロジェクトに使用を許可



Photo materials
 Address: 14 Sadova Str. Beneficiary family: Volynchuk Oksana



Address: 25 Druzhbna Str. Beneficiary family: Titochka Natalia





小倉純夫ガバナーの地区第1スローガン
ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、
千葉から世界を変えていこう

ロータリー財団へのご理解ご協力をお願い申し上げます
ご清聴ありがとうございました。



「補助金の申請・審査と管理の説明」

13:45 地区補助金申請について

地区補助金プロジェクト委員会 委員長 平野 伸一

The Rotary Foundation

補助金の申請について

2022-2023年度国際ロータリー2790地区
地区補助金プロジェクト委員会

平野 伸一 (成田コスモポリタンロータリークラブ)

地区補助金の申請について

アンケート集計

- 1 地区補助金の概要
- 2 申請～報告までのスケジュール
- 3 地区補助金の対象となる/ならない事業
- 4 申請書の作成と提出

アンケート集計

23-24年度財団ハンドブックについてのアンケート
(2022年10月28日配信実施) 回答率：51.2%

42クラブからご回答ありがとうございました！

2022年11月17日現在

アンケート集計

1) ロータリー財団ハンドブックは活用していますか？

活用している	活用していない	どちらでもない
37	3	2

アンケート集計

活用していないを選んだ理由；

- ・申請しやすい、補助金を受けやすい、利用しやすいものにしていただきたい。
- ・難しく分かりづらい。
- ・使いにくい。
Web検索したり財団室に電話で問い合わせる解決が多い。
例えばポリオプラスがPHFの対象になることがポリオプラスの説明に明記されていない。
- ・よくわからない。

アンケート集計

2-1) 地区補助金の金額は適正ですか？

適正	適正でない	どちらでもない
30	5	7

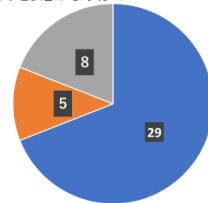
アンケート集計

適正でない理由；

- ・いろいろ申請に手間がかかるわりに寄付した金額より少ない。
最低限寄付した金額は支給してほしい。
- ・事業内容に見合った拠出をお願いしたい。
- ・増額を希望
- ・多い方がより大きな事業を行えるが補助金に限度があると思う。

アンケート集計

2-2) 財団委員会では「23-24年度の地区補助金の支給最高60万円としてクラブ拠出金は同額以上とする。」ことを検討していますが、どう思いますか？



■ 良いと思う ■ 良くない ■ どちらでもない

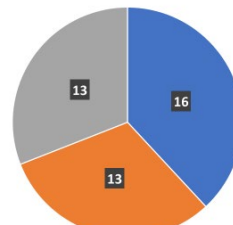
アンケート集計

良くない理由；

- ・クラブ拠出金が同額以上とすると小さなクラブでは満額支給は困難と考える。
- ・会員数が少ないクラブもあるので規模に応じた拠出比率を考慮すべき。
- ・クラブごとに寄付実績が異なり、また個別の事業に応じて所要額が異なるので、一律に上限を設けて申請を制限するべきではない。
申請額は申請クラブの寄付累計実績を勘案し事業に応じて審査すればよい。
- ・クラブの規模、事業の無いようにより支給額を考慮すべきで、60万円を上限とすべきではない。クラブの拠出金を強制的に決めるべきではないと考えるため。
(特に小規模クラブで活用できるように配慮すべきと考える。)
- ・支給額増加によりクラブ負担が多くなることに耐えられない。

アンケート集計

2-3) 同一事業の5年間に1回の申請について適正ですか？



■ 適正 ■ 適正でない ■ どちらでもない

アンケート集計

適正でない理由；

- ・3年間に1回の申請にしてほしい。
- ・継続した奉仕活動を推進するうえで3年に1回で良いのでは。
- ・継続するためには1回だけでは予算上難しい。
- ・5年は長すぎる。
- ・地域のニーズに応じて必要な場合がある。
むしろ連続して5年間を超える（または通算5回）
同一事業申請制限はあっても良い。
- ・真に素晴らしい事業ならば毎年継続されることが望ましいと思う。
- ・良い事業は継続して行う。

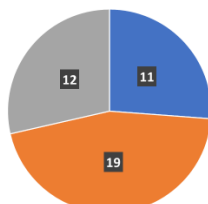
アンケート集計

適正でない理由；

- ・事業の継続を考えると3年に1回にしてほしい。
- ・5年の根拠が分からない。
- ・もっと頻度を上げて良いと思う。
- ・期間が長すぎる。
- ・事業内容によると思う。
- ・複数年の継続申請を許容していただきたい。

アンケート集計

2-4) 財団委員会では「同一事業は2年継続してはいけない。」ことを検討していますがどう思いますか？



■ 良いと思う ■ 良くない ■ どちらでもない

アンケート集計

適正でない理由；

- ・補助金とは関係なく、継続が望ましい事業もあると思う。
- ・事業によっては継続も考えられるので、継続事業の方法も検討いただきたい。
- ・越年の事業があっても良いと思う。
- ・事業によっては継続性が必要になるので2から3年の継続が有意義な事業となる。
- ・奉仕活動としてよい事業であれば継続していくべきと思う。(事業例にする)
- ・2年継続してはいけない理由が分からない。
- ・クラブの発意による活力ある事業を地区財団委員会が一様に制限すべきではない。
- ・効果が高ければ継続したほうが良いのでは。
- ・継続することより複雑で規模の大きい奉仕が可能になる為。

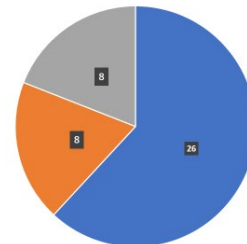
アンケート集計

適正でない理由；

- ・継続すべき事業もある。
- ・持続すべき議場もある。
- ・単年度のほうが良い。
- ・2年継続しても良いと思う。
- ・単年度では結果や効果が表れない場合がある。
- ・継続した方が良い。(1年では十分な事業が行えない)
- ・事業内容によると思う。
- ・複数年の継続申請を許容していただきたい。
- ・事業によっては継続が必要なものがある。

アンケート集計

2-5) 報告書の提出期限が4月末は適正ですか？



■ 適正 ■ 適正でない ■ どちらでもない

アンケート集計

適正でない理由；

- ・年度後半で実施したい事業ができない。申請3月も準備計画を考えると厳しい。
- ・提出期限をもう一ヶ月遅らせてほしい。
- ・4月までのプロジェクトしか申請できないため。
- ・活動時期に制約がある。
- ・提出期限が早すぎるため念入りな計画検討が難しい場合がある。
- ・年度末ではなく年度初めのほうが良いと思う。そのほうが活動計画に果せやすい。
- ・ロータリー年度の6月末が良いと思います。
- ・期限が早すぎる。

地区補助金の申請について

1 地区補助金の変更点

2 申請～報告までのスケジュール

3 地区補助金の対象となる/ならない事業

4 申請書の作成と提出

5 その他

1 地区補助金の変更点

1. プロジェクト1件あたりの補助金上限額(下限設定はありません)について

【変更前】30万円

(但し、国際的人道奉仕に対しては60万円)。



【変更後】60万円

※クラブ拠出金は変更なく事業費支出の50%以上です。

事業総額	地区補助金	クラブ拠出金
① 120万円以上	60万円	残り金額を拠出
② 100万円まで	残り金額を拠出	50万円
③ 50万円まで	クラブ拠出金の同額以下	地区補助金の同額以上

1 地区補助金の変更点

2. クラブからの申請件数について

【変更前】1クラブあたり1プロジェクトまで申請いただきました。



【変更後】1クラブあたり最大2件のプロジェクトまで申請可能です。

※但し、TRFから受給される補助金に限りがあるため、プロジェクトの優先順位を申請時申告いただき、全てのクラブからの1件目の申請承認後、補助金に余裕があった場合、2件目の申請承認をおこないます。

1 地区補助金の変更点

3. 受益者が変わる複数年度プロジェクトについて

【変更前】都度協議させていただきました。



【変更後】最長5年のプロジェクトが申請可能です。

※地区補助金申請書

1.1 地区補助金申請書長期計画書をご記入願います。

※同一事業(受益者・授与者・内容がすべて同じプロジェクト)

におきましては、2年連続の申請はできません

(TRF:「授与と受託の条件Ⅲ-1」により)。

1 地区補助金の変更点

※地区補助金への参加

・地区とクラブに参加資格があります

・2022-23年度からロータクトクラブも地区補助金申請ができるようになりました

・インターアクトクラブ、ROTEX、RYLA参加者、財団奨学生、米山奨学生及び学友会が申請を希望する場合は、管轄クラブ/地区委員会が補助金管理セミナーへ出席&MOUを提出して参加資格を得る必要があります

地区補助金の申請について

1 地区補助金の概要

2 申請～報告までのスケジュール

3 地区補助金の対象となる/ならない事業

4 申請書の作成と提出

5 その他



2 申請～報告までのスケジュール

地区補助金の申請のための参加資格を得るには、次の条件を満たす必要があります

MOUを地区と契約します

地区主催の補助金管理セミナーに最低1名が出席します

「地区補助金財務管理計画規定」を作成し、クラブで保管します



2 申請～報告までのスケジュール

「地区補助金財務管理計画規定」について

クラブの参加資格認定 規定 (MOU)
ロータリー財団

1. 目的
2. 適用範囲
3. 定義
4. 承認
5. 承認後
6. 承認後
7. 承認後
8. 承認後
9. 承認後
10. 承認後

MOU内で作成が義務付け

作成後は各クラブにて保管

地区委員会への提出は不要です

書式は地区ホームページからダウンロード可能となります



2 申請～報告までのスケジュール

「地区補助金財務管理計画規定」について

MOU (MOU) の目的
適用範囲
定義
承認
承認後
承認後
承認後
承認後
承認後

- 資金の適切な管理
- 資金使用の際の間違いを減らす
- 不正な利用を防止する
- 補助金が支給される銀行口座を2名で管理



2 申請～報告までのスケジュール

申請～報告までのスケジュール

・申請書の受付期間	2023年3月1日～3月31日締切（当日消印有効）
・地区による審査期間	2023年4月1日～4月17日
・補助金交付	TRFから地区に補助金が振込まれ次第です (2022-23年度は2024年8月8日振込)
・事業の実施期間	2023年7月20日～2024年4月30日 (TRFの承認があれば実施可能です)
・報告書提出期日	事業終了後1か月以内に提出をお願いします (最終期限2024年5月30日)



2 申請～報告までのスケジュール

申請書の作成と提出

- ・申請書提出期限は2023年3月31日です（当日消印有効）
 - ①2790地区ホームページより申請書をダウンロードお願いします
 - ↓
 - ②申請書を作成ください
 - ↓
 - ③データ：申請書をエクセルデータのままメールにて送信ください
 - ↓
 - ④原本：申請書を印刷し、署名（3名）した物を郵送ください



2 申請～報告までのスケジュール

審査期間について

- ・4月 日（日）に当委員会と奉仕プロジェクト統括委員会合同の「補助金審査会」で地区として最終審査を行います
- ・補助金審査会の結果を踏まえ、ロータリー財団へ申請します
- ・ロータリー財団の承認後、事業を開始することが可能です
- ・補助金は事業承認後にロータリー財団から支給されますが、承認から1か月程度かかる場合もあります



2 申請～報告までのスケジュール

審査期間について

- ・4月1日より、地区補助金プロジェクト委員会と、奉仕プロジェクト統括委員会によって事前審査が行われます
- ※この間、当委員会の担当者から申請された内容について、質問/確認のご連絡をさせていただいております
(申請書の修正を要望する場合があります)



2 申請～報告までのスケジュール

報告書の提出

- ・事業終了後、1か月以内に報告書を提出してください
(2024年5月30日は地区としての最終期限ですので、事業完了後は速やかに報告書を提出してください)
- ・補助金が支給された全てのクラブの報告書がそろわない限り、次年度の地区補助金申請が受理されません
- ・次年度の補助金承認/支給時期がずれ込むことになりますので、ご協力をお願いいたします



地区補助金の申請について

1 地区補助金の概要

2 申請～報告までのスケジュール

3 地区補助金の対象となる/ならない事業

4 申請書の作成と提出

5 その他



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

地区補助金についてのルール

※基本事項

- ・ロータリー財団の定める『地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件』に合致していることが絶対条件となります
- ・その他、2790地区ロータリー財団委員会の定める諸条件と合致していることも必要です
(『ロータリー財団ハンドブック』を参照してください)



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

『授与と受諾の条件』で定められている主な項目

『地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件』には以下の事柄が記載されています

- ・「ロータリー財団の使命」に関連していること
“ロータリアンが健康状態を改善し、教育への使命を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること”

- ・ロータリアンが積極的に参加する活動であること



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

『授与と受諾の条件』で定められている主な項目

- ・プロジェクト実施に先立ってロータリー財団より審査され、承認されていること
- ・既に完了済み、あるいは進行中の活動や経費に補助金は使えません
→ TRFの承認前にプロジェクトを開始することはできません
- ・TRFの補助金承認後に事業計画を変更する際は事前にTRFからの承認が必要です



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

①物品の提供について

- ・贈呈/寄贈行為のみのプロジェクトは対象となりません
ロータリアンによる直接的な活動を伴う必要があります

例：コロナ対策事業の場合

- ・消毒器具を寄贈し、ロータリーによる贈呈式を行う→×
- ・消毒器具を贈呈し、効果的な使用方法の講習会を行う→○

例：子ども食堂等への支援事業

- ・食材を渡して完結→×
- ・食材を贈呈し、現地での食事提供やサポートを行う→○



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

①物品の提供について

- ・不特定多数の人々に利用される物が対象となります
- ・特定の人に贈る場合は対象となりません
- ・史跡の標識、モニュメントの贈呈は対象となりません



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

①物品の提供について

- ・建物の新築や改築、既存建造物の改装などは対象となります

- ・植樹/環境美化活動/公園遊具やベンチ等は地域社会全般に役立つ物であれば対象となります

- ・競技会等に提供する商品類は常識的な金額の範囲とします



3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

② 飲食/交通費について

- 対象となるもの
 - ・事業遂行に必要な講師/出演者に提供する費用
 - ・プロジェクト実施に必要な損害保険料
- 対象とならないもの
 - ・ロータリアンのための費用（海外への渡航調査費用を含む）
 - ・事業主催者側スタッフ（ボランティア含む）に提供する費用
 - ・懇親会/親睦会/宴会の開催を目的とした費用

3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

③ その他

- ・人道的な活動で本能に困っている人々を支援する活動は対象となります
- ・お祭りや行事、他団体への協賛金は対象になりません
- ・単なるコンサートや文化講演会、文化的な体験学習やイベントへの支出は対象になりません
- ・地域の障がい者や高齢者への支援活動は対象となりますが、単なる娯楽的なものは除外されます

3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

④ クラブにおける継続事業（複数年間催）についての注意

- ・特定の受益者、団体、地域社会に対する過度の支援は対象外とされています（授与と受諾の条件 Ⅲ 制約事項）。

2790地区では、● 同一事業（受益者・授与者・内容がすべて同じ事業）は2年連続して補助金の対象とはなりません。● 受益者が変わる複数年事業については、申請書に記述し、2790地区ロータリー財団統括委員会の承認を得ることが必要となります。但し、
（補助金マニュアルP6参照下さい）

3 地区補助金の対象となる/ならない事業

2790地区における地区補助金の対象となる/ならない事業

- ・社会的に意義のあると思われる奉仕活動であっても、財団の使命と一致していない場合や、授与と受諾の条件に適合しない場合は財団の補助金の対象になりません

※ご不明な点は地区補助金プロジェクト委員会にお気軽にメールにてご確認をお願いいたします(^_^) ☆
hiranoshinichi1977425@gmail.com

14:05 グローバル補助金申請についてグローバル補助金プロジェクト委員会 委員長 神 正臣
今年度グローバル補助金プロジェクト委員会、委員長を拝命致しました、神 正臣です

グローバル補助金の申請




2023年 1月28日 2790地区 2022-23年度
ロータリー財団セミナー
ロータリー財団統括委員会
グローバル補助金プロジェクト委員会

所属クラブは、柏南ロータリークラブです

今回はグローバル補助金の申請についてお話させていただきます。

補助金とは？（ロータリー財団の使命）

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること



■ グローバル補助金の概要

目的

グローバル補助金は、ロータリーの**7つの重点分野**に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します

- ・ 人道的プロジェクト：

ロータリーの**7つの重点分野**に合致し、国際的なパートナーシップによる大規模プロジェクト

「ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金」（2013年に開始）



更に GG の使用条件です 具体的には

【MOU の締結】【補助金管理セミナーへの参加】【地区による追加要件を満たす】

■ 7つの重点分野

- 1、平和構築と紛争予防
- 2、疾病予防と治療
- 3、水と衛生
- 4、母子の健康
- 5、基本的教育と識字率向上
- 6、地域社会の経済発展
- 7、環境



■ グローバル補助金の使用条件

- ・ 援助国と実施国(パートナークラブ)の2つのロータリークラブの協力が必要

援助国



実施国



始めに「グローバル補助金の使用条件」に付いてです

GG は 援助国 と 実施国のつまり2つのロータリークラブの協力が必要です

■ グローバル補助金の使用条件

- ・ MOU (覚書) の同意
- ・ 補助金管理セミナーへの参加
- ※双方が参加資格の認定を受ける事が必要
- ・ 地区による追加要件を満たす



更に GG の使用条件です 具体的には

【MOU の締結】【補助金管理セミナーへの参加】【地区による追加要件を満たす】

■ グローバル補助金の要件

- ・ **重点分野**に該当すること
- ・ 持続可能で活動成果が長期的に持続すること
- ・ 測定可能な目標を持っていること
- ・ 事前に地域社会のニーズを調査すること
- ・ ロータリアンと地域社会の人々の積極的参加
- ・ 「授与と受諾の条件」の遵守



次に「グローバル補助金の要件」ですが

- ・ 重点分野に該当すること ※1
- ・ 持続可能で活動成果が長期的に持続すること
- ・ 測定可能な目標を持っていること
- ・ 事前に地域社会のニーズを調査すること
- ・ ロータリアンと地域社会の人々の積極的参加
- ・ 「授与と受諾の条件」の遵守(じゅんしゅ)(P103)

申請時期

グローバル補助金は地区補助金とは異なり
いつでも申請可能、地区財団の審査を経て
MyROTARYからTRFに直接申請する、
申請が受理された順にTRF審査が行われる



グローバル補助金申請

・グローバル補助金の最低予算は

【\$ 30,000】

DDF寄贈 + WF上乗せ金 + クラブ拠出

合わせて \$ 30,000以上になれば申請可能です

(DDF\$20,000+WF\$16,000=\$36,000)



グローバル補助金申請 資金計算表

以下の項目を入力し、算出された金額を記入してください。

項目	金額	単位	備考
1. 活動助成金（クラブ拠出）	1,000	円	クラブからの拠出
2. 活動助成金（地区財団からの拠出）	10,000	円	地区財団からの拠出
3. 活動助成金（DDF）	20,000	円	DDFからの拠出
4. 活動助成金（WF）	16,000	円	WFからの拠出
合計	47,000	円	

※この表はあくまで目安であり、実際の金額は申請書提出後に決定します。
※申請書提出後、地区財団の審査を経て、TRFからの承認が得られる場合があります。



DDF 拠出とか、WF 上乗せ金とか、この辺りが分かりずらいという事で、こちら資金計算表です。マイローター一内で開く事が可能です。

実際私がケニアプロジェクトをやった時にも使いました
此処に其々の DDF 拠出、クラブ拠出を入力すると自動で総額を計算してくれます

申請

ロータリー補助金のライフサイクル



ロータリー会員がプロジェクト、リーダーが申請書を承認し、これをチームの計画を立て、オンラインで補助金申請に入力します。

クラブと地区のリーダーが申請書を承認し、これを承認します。

補助金の提唱者が申請書をロータリー財団に提出し、補助金の支払いが行われます。

ロータリー財団が補助金を承認したら、申請者が行方不明で、活動が中断するまで毎年、財団に報告を提出し続けます。



申請手順

① 調査提案

代表提唱者は現地調査を実施し、実施国・地域代表提唱者と協働して『地域社会調査の結果フォーム』事業計画書等を作成する。

クラブは、地区ロータリー財団委員会に地区審査のための書類を提出する。



申請手順

地区財団委員会への提出書類



1) グローバル補助金事業計画書 (様式501) 2) DDF使用申請書(様式511) 3) 『地域社会調査の結果フォーム』



申請手順

② 地区審査

地区ロータリー財団委員会は、補助金申請要件に合致しているか確認する。

地区ロータリー財団委員会は、確認の後、DDFの使用を承認し、

クラブ（代表提唱者）のWeb申請を承認する

（必要に応じ、Web申請等を支援）



申請手順

③ Web申請・TRF審査

クラブは、申請書記入後、地区ロータリー財団委員長及び地区ガバナーの承認をもらい、TRFにWeb申請する。

- ・ **My ROTARY**から申請する。
- ・ 審査期間は最近の事例で半年程度

※TRFへの申請後不足事項等がある場合はTRFから照会がありクラブは回答を含め適切に対応する

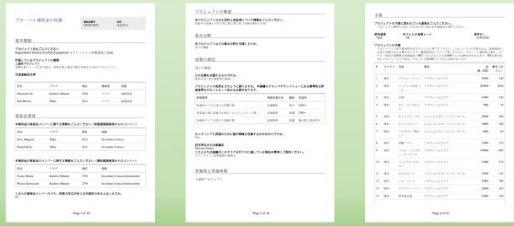
※TRFから、メールにより承認・不承認が通知される

※補助金を受領し資金管理を行う場合は申請書の審査段階で銀行口座情報を補助金センターから提出する




申請手順

TRFへのWEB申請書類



TRF審査を受ける為、且つパートナーであるロータリーもクラブも閲覧する為WEB申請時の言語は**二か国語**での記載が望ましい(日本語・英語)




申請手順

送金方法

- ・ **TRFの承認後**クラブ拠出金を送金する


- 1、寄付の形でTRFに送金する(5%手数料、寄付控除)
- 2、現地に直接送金する(煩雑な手続き)



申請手順

④事業開始

- ・ TRFの承認後、クラブは、グローバル補助金財務管理計画規定を作成し、補助金管理委員会を設置する
- ・ クラブが法令遵守の承認を行うと**指定口座に入金される**



申請手順


補助金の受け取り方法

グローバル補助金事業のDDF利用分をTRFから受け取る方法は2つあります

資料の調達先等、事業内容に応じて申請して下さい

- ※①日本のロータリークラブが日本円で受け取り、実施国へ送金する(場合によっては都度送金する)
- ②現地のロータリークラブが現地の通貨で受け取る


上記の方法がありますが、原則として実施国ロータリークラブが直接受け取ることが望ましい



申請手順

補助金の受け取り方法

- ※グローバル補助金を日本側の口座で受け取った場合最終的な経費報告の責任、資金の流れを証明できない場合の返済新たな補助金への参加資格等のペナルティ、地区の補助金参加資格の停止まで全て引き受ける事になる可能性があります
- 実施国ロータリークラブ**へ直接送金しない場合は一度財団委員会にご相談ください
- ※ペナルティの詳細は『国際ロータリー日本事務局 | 財団室』へお問い合わせ下さい



申請手順


⑤記録・報告

クラブは、事業活動の写真・記録等を随時作成する

クラブは**My ROTARY**からプロジェクト期間中12ヵ月毎に『中間報告書』を提出しプロジェクト完了後2ヵ月以内に『最終報告書』を提出する

TRFは『最終報告書』を受理し、現地の地域社会が持続可能な手段を備えたことを確認し補助金を終了とする

クラブはプロジェクトに関する書類を5年間保管する



以上、グローバル補助金の申請について




14:20 地区補助金の審査について 奉仕プロジェクト統括委員会 委員長 藤崎 泰裕

14:35 ラーニング:クラブの資格認定 (ビデオ 5:38) 末尾に記入

14:45 休憩

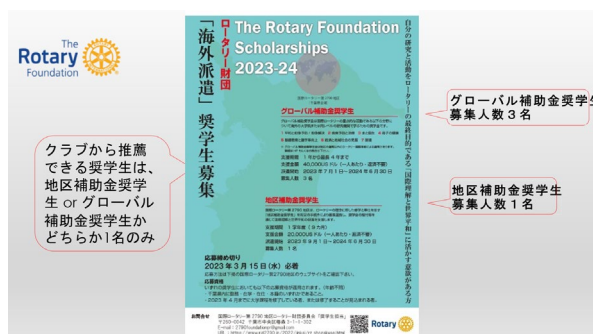
「財団プログラムの説明」

15:00 財団奨学生について 奨学生学友委員会 委員長 藤崎 康人



それでは、奨学生・学友委員会の方から、ロータリー財団奨学生の補助金での奨学金の申請についてご説明をさせていただきます。

私は委員長を仰せつかっております折田と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。



まず、応募方法についてご説明いたします。

R財団セミナーでもお話いただきましたが ご覧のような「海外派遣」奨学生 募集のポスターを、すでに県内の約50の大学に配布をさせていただいております。

更には、2790地区公式ホームページ等にも掲載し、幅広く優秀な人材に応募していただくよう、ご案内をさせていただいております。

この後、ご説明しますが、具体的な、応募要項 及び 申請書等につきましても、2790地区公式ホームページからダウンロードできるようにしてありますので、そちらからお願い致します。

スライドにもございます通り、2023-24年度の募集人数につきましては、グローバル補助金奨学生が3名、地区補助金奨学生が1名の予定です。

それから、クラブへ複数の応募がありましても、クラブから推薦できる奨学生は、地区補助金奨学生か、グローバル補助金奨学生か、どちらか1名のみで複数の推薦は出来ませんので、予めお伝えさせていただきます。

奨学金の金額ですが、グローバル補助金奨学生の支給金額が40,000ドル、地区補助金奨

学生が 20,000 ドルとなっております。原則として、奨学金の支給が決定すると、その時点でのドル円レートにより、日本円で相当額が各クラブの専用口座に振り込まれることになっています。



奨学金の選択について

財団ハンドブックの掲載ページをご覧ください。

➡ P17 (地区補助金での奨学生申請要項)

➡ P24 (グローバル補助金での奨学生申請要項)

👉 以上の2種類があり、どちらか一名のみ。

スライド変わりましたので、まず、奨学金制度の種類についてご説明をさせていただきます。

皆様のお手元には、予め発送済みの財団ハンドブックをお持ちの方と、そうでない方がいらっしゃるかも？かもしれませんが、お手元にお持ちであるという前提でお話をさせていただきます。

尚、このパワーポイントは、後ほど地区ホームページにも掲載されますので、そちらからもご覧になることができます。

お持ちの方はページを開きながらお聞きいただきたいと思います。

それでは、スライドに表示されておりますように、奨学金につきましても、ロータリー財団の補助金制度の一環でございまして、ロータリークラブは、一つには財団ハンドブック 17 ページから始まる地区補助金での奨学金 と、今一つには 24 ページから始まるグローバル補助金での奨学金の 2 種類を使うことができます。

申込者 並びに 推薦クラブのご担当者様には、申請要項及び参考資料 46 ページ「重点分野の基本方針」や 59 ページ「補助金の授与と受託の条件」等を熟読していただく必要がございます。

	地区補助金 (DG) 奨学生申請要項 P17~19	グローバル補助金 (GG) 奨学生申請要項 P24~26
共通項目	<ul style="list-style-type: none"> ■目的 ■奨学金の種類と内容 ■申請資格 ■奨学金の条件 ■推薦クラブ ■申請手順 ■提出書類 ■選考会後の流れ 	

スライド変わりました、財団ハンドブック P17~19、24~26 をご覧いただきますと、2種類の奨学金での申請要項がございます。

共通項目として、奨学金の 目的、種類と内容、申請資格、条件、推薦クラブ、申請手順、提出書類、選考会の流れ などの 説明を順に記載しております。

2種類の奨学金の申請要項につきまして、時間の関係で、すべてを ご説明する時間がございませんので、大事なポイントになるところのみをピックアップしてご説明させていただきます。

何卒ご了承ください。

説明できなかった部分につきましては、各自で、ご精読いただくようお願い致します。

■地区補助金での目的 P17

ロータリーの理念とロータリー財団の使命に即した修学と奉仕を志す「地区補助金奨学生」を選抜し、奨学金の給付等を通じて国際理解と世界平和の促進を支援します。

まず、スライドにありますように、地区補助金奨学生の選考にあたりましては、財団ハンドブック 17 ページに地区補助金での奨学金の目的が書かれておりますけれども、この目的に沿ってロータリーの理念とロータリー財団の使命に即した修学と奉仕を志す地区補助金奨学生を募集し選抜させていただきます。

また、地区補助金での奨学金は、グローバル補助金と違い、推薦するロータリークラブが主体で行う地区補助金事業です。現在、この補助金の諸条件については、地区の裁量で決め

ております。

👉 ■ グローバル補助金での奨学金の目的 P24

ロータリー財団が定めた**7つの重点分野**のいずれかに合ったキャリアを目指し、自分の研究と活動をロータリーの最終目的である「国際理解と世界平和」に生かす意欲がある方を支援します。

スライド変わりました。今一つの、グローバル補助金奨学生の選考にあたりましては、財団ハンドブック 24 ページに グローバル補助金での奨学金の目的が書かれておりますけれども、この目的に沿ってロータリー財団が定めた7つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し、海外の大学院 または 大学院レベルの研究機関の研究目標もそれに沿っており、自分の研究と活動をロータリーの最終目的である「国際理解と世界平和」に生かす意欲のある グローバル補助金奨学生を募集し 選抜させていただきます。

また、グローバル補助金での奨学金は、海外側の実施側クラブと当地区側の援助側クラブが協力して行うグローバル補助金事業です。つまり、この 2 つのクラブが主体となり行う事業です。

👉 ■ 地区補助金での奨学金の種類と内容 P17

分 野	: 研究分野は問わない
奨学金の種類	: 海外の大学または大学院で1年間学ぶための奨学金
支給金額	: 20,000USドル（旅費を含む）
派遣国	: 世界のロータリークラブ所在国
派遣年度	: 2023年9月1日～2024年6月30日の間に就学していただきます。
募集人数	: 1名

スライド変わりました。これも大事なところですが、具体的に、当地区における地区補助金での奨学金の種類と内容についてご説明いたします。

17 ページの表からご説明いたしますと、

- ・まずはじめに、分野としましては、研究分野は問いません。
- ・次にこの奨学金の種類としましては、海外の大学または大学院で 1 年間学んでいただくための奨学金です。

対象者は、新学期から、就学を開始する方を対象としております。

- ・次に支給金額、つまり、授与する奨学金の上限額としましては、米ドルで 20,000 ドルで

ございます。これには旅費も含まれます。

- ・次に派遣国としましては、世界のロータリークラブの所在国となります。
 - ・次に派遣年度並びに派遣期間としましては、2023年9月1日～2024年6月30日の間に就学をしていただきます。
 - ・次に募集人数としましては、1名となっております。
- 以上が、地区補助金での奨学金の種類と内容です。

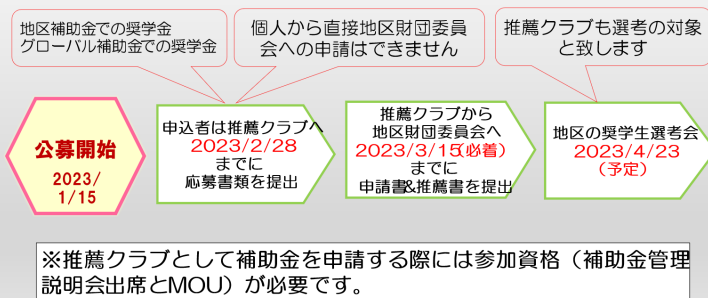
👉 ■ グローバル補助金での奨学金の種類と内容 P24	
分野	下記の分野を海外の大学院または大学院レベルの研究機関で学ぶことが条件で(Q&A参照) <ul style="list-style-type: none">・平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展・環境
奨学金の給付	1年から最長4年まで
支給金額	40,000USD (旅費を含む)
派遣国	世界のロータリークラブ所在国
派遣開始日	2023年7月1日～2024年6月30日の新学期から開始しなければならない。
募集人数	3名

スライド変わりました、これも同じく大事なところですが、具体的に、当地区におけるグローバル補助金での奨学金の種類と内容についてご説明いたします。

24 ページの表からご説明いたしますと、まずはじめに、分野としましては、7つの重点分野であります。平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展、環境のいずれかの分野のキャリアを目指し、海外の大学院又は大学院レベルの研究機関で学ぶことが条件です。(大学院レベルの研究機関については P32～33 の Q&A をご覧下さい。)

- ・次に、この奨学金の給付としましては、1年から最長4年までです。
 - ・次に、支給金額、つまり、授与する奨学金の上限額としましては、米ドルで40,000ドルでございます。これには旅費も含まれます。
 - ・次に、派遣国としましては、世界のロータリークラブの所在国となります。
 - ・次に、派遣開始日としましては、2023年7月1日～2024年6月30日の新学期から開始していただきます。
 - ・次に、募集人数としましては、3名となっております。
- 以上が、グローバル補助金での奨学金の種類と内容です。

申請手順 (DG奨学生・GG奨学生・推薦クラブ共通)



スライド変わりました、続いて、共通項目として申請手順についてご説明いたします。

・スライドをご覧くださいなのですが、左から順に行きますと、公募開始は2023/1/15からとなっており、申込者からはすでに各クラブへの受付が始まっております。

※申請要領 並びに 応募書類は、地区のホームページからダウンロードして下さい。
・次に、申込にあたりましては、申込者は、2/28 までに、本籍、居住地、職場、大学等のいずれかの所在地に所在するロータリークラブに、推薦クラブとして、応募書類を提出していただくこととなります。

申込者から各クラブへの応募書類の締め切りは、地区補助金での奨学金、グローバル補助金での奨学金 ともに、2/28 でございます。

尚、申込者から直接、地区財団委員会への申請はできません。あくまでも推薦クラブがロータリー財団への申請者です。

申込者が最寄りのロータリークラブを探す場合は、2790 地区ガバナー事務所ホームページに、クラブ情報の一覧が掲載されておりますので、そこから確認することが出来ます。

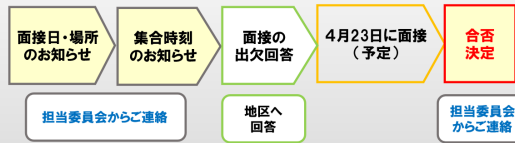
・次に、推薦クラブからは、地区財団委員会の方へ 3/15 (必着) で、申請書 並びに 推薦書 の提出をお願いします。

・次に、地区財団委員会での 奨学生選考会は、4月23日を予定しております。この際には、推薦クラブも選考の対象と致します。

また、推薦クラブとして補助金を申請する際には、参加資格として、補助金管理説明会出席とMOUが必要です。参加資格がない場合申請できませんのでご注意ください。

尚、直接電話等による、お問い合わせには、お答えしておりませんので、お問い合わせにつきましては、ポスターに掲載されております、ロータリー財団委員会「奨学生担当」のメールアドレスから、お問い合わせいただくようお願いいたします。

■ 選考会後の流れ (DG奨学生・GG奨学生・推薦クラブ共通)



- ▶ 合否決定は担当委員会から面接終了後1週間以内を目安にご連絡いたします。
- ▶ 出発前オリエンテーションに欠席しますと失格と致します。

スライド変わりますので、最後に成りますが、選考会後の流れについてご説明させていただきます。

- ・ 4月23日に面接・選考会を予定しております。
- ・ 合否の判定結果は、財団委員会の中で厳正な審査をして、面接終了後1週間以内を目安に、担当委員会の方からご連絡させていただきます。

但し、ここで言う合格は、派遣奨学生候補としての合格という事に成りまして、「出席義務になっている、出発前オリエンテーションに出席し、手続きをすべて完了した段階で、晴れて正規の奨学生となります。」せっかく派遣奨学生候補になりましても、出発前オリエンテーション(5月以降に予定)に欠席しますと失格と致します。

以上、速足になりましたが、持ち時間が来ましたので、これを持ちまして、奨学生・学友委員会からのご説明を終わらせていただきます。

15:15 ポリオプラスについて

R ポリオプラス委員会 委員長 松永 達人

ロータリーにとってポリオとは？

ロータリー財団管理委員会とRI理事会は「**ポリオのない世界**」と認定されるまで国際ロータリーおよびロータリー財団にとってポリオ根絶は最も重要な目標であり、そうあり続けなければならない(ロータリー財団章典12.010.)

ポリオプラスプログラムが成功裏に完了するまで、いかなる他のプロジェクトも検討されない(2017年1月理事会会合、決定87号)

ロータリーにとって最重要専任プログラムです



ロータリーにとっての追い風

ビル&メリンダ・ゲイツ財団は
2013年のロータリー国際大会で
2018年までの5年間
ロータリーのポリオ寄付の**2倍**の額を上乗せ
2017年の世界大会でも
3年間**2倍**の額を上乗せすると発表
2020年から3年間継続を発表
これにより3年間で最大**4億5000万ドル(495億円)**の資金をポリオ根絶活動に提供することが可能

なぜ日本ではポリオという病気に関心が低いのか？

感染者・発症者が身近にいないため、ポリオには関係ないと思う。

↓

日本にはなぜポリオ感染者がないのか？

↓

日本では生後3~12か月までに三回のポリオワクチン接種が義務化されています。(四種混合) そのためほぼすべての国民に免疫義務がなされています。日本政府の国内ワクチンの投与費用は毎年100億円です。

↓

実は国内でもポリオという言葉は聞きなれている(新生児の母など)

ロータリークラブ単位での基礎知識

国際ロータリー全体で年間**5000万ドル**の寄付が必要なため
年間一人当たり**30ドル**の寄付を推進(財団プログラム)
ロータリーカードの作成の推進

↓

これらの達成の為には
会員へのポリオ根絶の理解周知が必要

ロータリアンの奉仕活動って？

特に若手、新人会員が感じる疑問
会員増強でも悩むこと
ロータリーって何をしている団体？
国際ロータリーの**共通奉仕意識**とは？
国際的人道支援とは？

世界中で良いことをしようというロータリー奉仕理念

ポリオをなくそう **ポリオ根絶プログラム**

ポリオ根絶活動が盛んな地域

フィリピン
アンティポロ市へ

10月24日
世界ポリオデーイベント

たくさんのロータリアンが参加

ポリオパレード



記念撮影



3800地区ガバナーネルソン氏

ポリオ根絶プログラムについての取り組みを
教えていただきました



ケニアとフランスでは
自転車レース



スイスでは、オーケストラの
チャリティコンサート



自分のクラブでも認知が必要

クラブ内でポリオ委員会を新設

世界ポリオデーに
ポリオ根絶チャリティコンへの開催



みんなで参加するために



一人一人にポリオTシャツ着用
をお願い



最後には全員が・・・

END POLIO NOW





2023 第10グループ
ポリオ根絶チャリティコンペ



ポリオ根絶奉仕プロジェクトを クラブにて開催した結果

国際ロータリーの最重要プログラム（ポリオ根絶）を行うことにより
ベテラン会員と若手会員の共通の奉仕意識が芽生え（ロータリーの王道）
更なる親睦が深まりクラブが**活性化**しました

国際ロータリー第2790地区
世界ポリオデー-祈願プロジェクト
「ポリオ根絶 および 新型コロナウイルス感染症対策祈願」
2021年10月24日(日)

END POLIO NOW

友だち募集
LINE 公式アカウント

QRコードから友だち追加

LINE ID: @polio2790

LINE QRコード: [QR]

LINE公式アカウント: [QR]

LINE ID: @polio2790

10月24日 Rotary

成田山新勝寺

世界ポリオデー祈願PJ

広報公共イメージPJ



たくさんのロータリアンが集結

(事例) 2780 地区の取り組み

バスジャックプロジェクト

2021年10月24日(日) 成田山新勝寺にて開催された世界ポリオデー祈願プロジェクトの取り組みです。

・5台のバスを借り、各バスに「END POLIO NOW」のステッカーを貼付し、バスを走らせました。

・5台のバスを借り、各バスに「END POLIO NOW」のステッカーを貼付し、バスを走らせました。

・5台のバスを借り、各バスに「END POLIO NOW」のステッカーを貼付し、バスを走らせました。

(事例) 2750地区「END POLIO NOW」ウォークラリー

とちにポリオ根絶活動をアピールしましょう

2021/10/24(日) 13:30より、東京駅丸の内口から有楽町駅前広場においてウォークラリーを行います。

丸の内仲通りを東京駅前から有楽町駅前広場まで、「END POLIO NOW」とプリントされた赤いTシャツとマスクを身につけて歩きましょう。

ロータリアン以外の方の参加も大歓迎です。

地区ロータリーメンバーの皆さま、ロータリーファミリーの皆様、ご家族ご友人の皆様、みんなでウォークラリーを楽しみましょう！

※参加の際は新型コロナウイルスの感染状況をみて、内容を変更する場合がございます。

国際ロータリー佐藤芳朗理事からの提言

世界ポリオデーにちなんで、日本各地の地区およびクラブに「日本ポリオデー」の催しを地区全員参加を目指して開催を推奨する

この事はロータリー最優先事項であるポリオ根絶活動のPRを日本各地で繰り広げることで複合的な効果があると期待している

啓蒙イベント場所候補地

世界の玄関

成田国際空港にしよう!

各所への働きかけ

- 成田空港株式会社 (NAA)
- 成田国際高校
- 成田市
- バルーンアーティストDAIGO氏への依頼
- 音響依頼
- 設営などなど・・・



そしてついには...

国のトップへの依頼

内閣総理大臣岸田首相へ



ポリオ根絶への理解、
応援をいただくべく
依頼のため訪問

国際ロータリー第2790地区
世界ポリオデー
成田国際空港へ第2790地区のロータリアン集結!!
千葉から世界へ発信しよう **10/23(日)**
ポリオ根絶の集い開催

「END POLIO NOW」のTシャツを着て
イベントに参加しよう!

着々と準備は進んでいきました

世界ポリオデー
啓蒙イベント
2022 **10/23(日)**
成田国際空港
第2ターミナル前中央広場

第2790地区オリジナルPV上映
ポリオ広場活動
成田国際高校の卒業生による講演会
成田国際高校ダンス部
パフォーマンス

Rotary

10月23日 当日

一番の心配だった天気・・・

晴

早朝から
有志ロータリアンの準備活動

舞台となる**4000個以上**のバルーンを使ったモニュメント

会場が...



一変して
華やかになりました



続々と地区ロータリアンが集結し



みんなでポリオ根絶を願い赤いTシャツ

END POLIO NOW



米山奨学生、学友たちも



小さな子供たちまで



そして...



セレモニーの開会



成田国際高校ダンス部による
ポリオ根絶祈願の舞い



成田国際高校吹奏楽部による
平和に向けての演奏



私たちが
楽しみました



ターミナルにて
広報活動

なんと！
内閣総理大臣より
応援メッセージを頂きました

**10月24日は
POLIO 世界ポリオデー**

**ポリオの根絶を
奨励する
5つの理由**

1. 根絶の利益
2. 根絶への投資
3. 根絶への期待
4. 根絶への期待
5. 根絶をつづける

内閣総理大臣
岸田文雄

ポリオ(小児麻痺)は、ワクチン接種により多くの国でみられなくなりながら、一部の国では発生が絶たない。道東、アラスカ半島地域でもポリオの事例がみられるなど、対策を継続することが重要です。引き続き、ポリオを世界から根絶するために取り組んでまいります。

10月24日はPOLIO 世界ポリオデー

ポリオの根絶を奨励する5つの理由

1. 根絶の利益
ポリオの根絶は、世界で最も効果的な健康投資です。ポリオの根絶は、毎年約10億人の子どもがポリオで苦しむのを防ぎ、毎年約100万人の子どもがポリオで死亡するのを防ぎます。

2. 根絶への投資
ポリオの根絶は、毎年約10億人の子どもがポリオで苦しむのを防ぎ、毎年約100万人の子どもがポリオで死亡するのを防ぎます。

3. 根絶への期待
ポリオの根絶は、毎年約10億人の子どもがポリオで苦しむのを防ぎ、毎年約100万人の子どもがポリオで死亡するのを防ぎます。

4. 根絶への期待
ポリオの根絶は、毎年約10億人の子どもがポリオで苦しむのを防ぎ、毎年約100万人の子どもがポリオで死亡するのを防ぎます。

5. 根絶をつづける
ポリオの根絶は、毎年約10億人の子どもがポリオで苦しむのを防ぎ、毎年約100万人の子どもがポリオで死亡するのを防ぎます。



記念撮影

疲れた後も
根絶活動は終わりません

ポリオをなくそう
END POLIO NIGHT

Rotary エンド・ポリオ・ナイト

10月23日(日) 17:00～20:00

料一人様 5,000円(税別)

当日参加 OK

会場: NARITA

10月23日(日) 17:00～20:00

料一人様 5,000円(税別)

当日参加 OK

会場: NARITA



2790地区にてポリオイベントを開催した結果

- 01 地区内ロータリアンへのポリオプラスプログラムの周知、認知を効果的にすることができました。(2790地区ポリオプラス委員会への申込依頼、前年比10倍)
- 02 周年へのインパクトを与えることができました(国際空港デジタルサイネージ、新聞、ラジオなどのメディアへの掲載)
- 03 ロータリアン300人超、成田国際高校100人その他含め500人超えのイベント
- 04 国際ロータリーの推奨する、各国のリーダーにポリオ根絶の重要性を働きかける事例を実施することができました。(内閣総理大臣からの応援メッセージ)
- 05 次世代の子供たちにポリオ根絶プログラムを伝えることができました。
- 06 地区にて奉仕活動の実践ができました。
- 07 地区内ロータリアンモーメント、親睦活動ができました。
- 08 これからの新規会員へのアプローチの材料を作り上げることができました。

国連総会でのBTS (防弾少年団) ジミンさんのスピーチ

「ロータリーや大勢の方々のおかげでポリオが地球上からなくなろうとしています。ポリオで苦しむ子どもが一人もいなくなるように、私もこの歴史的な達成の一翼を担いたと思います」

最後に

ロータリーの大きいパワーを実感することができました。

ロータリアンの行動力や人脈、また奉仕精神による総合パワーの大きさを再認識することができました。

ポリオ根絶を1985年に掲げた国際ロータリーは今日まで不可能を可能としてきました。世界中の子供たちと約束した根絶までの道を、多くのロータリアンとともに歩んでいくことができるはずで。

“

ポリオが根絶されれば、人類史上、根絶される2番目の疾病となることをご存知ですか。

”

10月24日は「世界ポリオデー」

Rotary

15:30 平和フェローについて
ビデオ放映

R 平和フェローシップ委員会 委員長 森正 浩造



ロータリー平和フェローシップは、平和の推進と紛争解決に貢献するリーダーを育成するためのロータリー財団奨学金プログラムです。

「世界平和の構築」は国際ロータリーが最優先課題として掲げる「ポリオ撲滅」に次ぐ重要プログラムとされています。

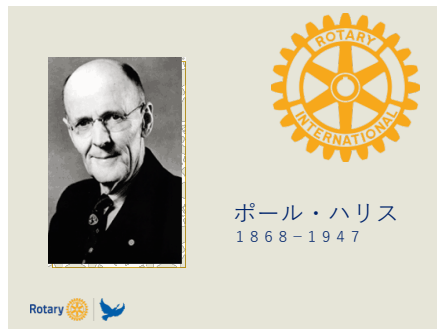
残念ながらまだまだ世界各地で紛争は起きています。

中東・アフリカが多いです。

また、昨年アフガニスタンから米軍の撤退後も今日までテロが頻発しています。

更には今年2月ロシアによるウクライナ侵攻以来、安全保障分野においては歴史的な転換点を迎えています。紛争とは無縁だった日本も、昨今は尖閣諸島にて領海・領空が頻りに脅かされる状況となっています。

1868年(明治元年)～1947年(昭和22年)の生涯で2度の世界大戦を経験し、平和に対する思い入れが強かった事を踏まえ、RIとロータリー財団は、持続可能な平和の構築をビジョンとして掲げ、平和構築、紛争解決、紛争予防に貢献できる平和構築者の世界的ネットワークを築くために、没後50年を記念して2002年にこのプログラムを開始しました。



当初はロータリー大学の設立を企画したそうですが形を変え、2002年、研修施設として世界各地の教育機関に「ロータリー平和センター」を設置することとなりました。

従来よりロータリーは世界平和・親善を謳ってききましたが、ここまで平和実現にはっきりと踏み込んだプログラムは初めてであります。



ロータリー平和センターは世界に7つあり、8つの大学に設置されています。

このうち5つのセンターでは、平和と開発に関する修士号取得プログラムを提供しています。

デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校(合同で一つの平和センターを運営)(米国)

国際基督教大学(日本)

ブラッドフォード大学(英国)
クイーンズランド大学(オーストラリア)
ウプサラ大学(スウェーデン)

残る2つの平和センターでは、平和と紛争研究に関する専門能力開発修了証取得プログラムを提供しています。

- ・チュラロンコン大学(タイ)
- ・マケレレ大学(ウガンダ)

修士号プログラム & 専門修了証プログラム

毎年
最高130名の平和フェローが選出

修士号プログラム

- ・明日のリーダーを育成
- ・毎年、最高50名(各センターで10名まで)
- ・15~24カ月間

専門能力開発修了証プログラム

- ・経験豊かなプロフェッショナルが対象
- ・毎年、最高80名(各センターで40名まで)
- ・1年間




毎年、修士号プログラムと専門修了証プログラムを合わせて最高130名が平和フェローとして選出されます。

修士号プログラムでは、若いプロフェッショナルが対象となり、毎年最高50名が選ばれます。このプログラムの期間は15カ月から24カ月となります。

専門修了証プログラムでは、経験豊かなプロフェッショナルが対象となります。年間で合計80名となります。

いずれのセッションでも、期間は1年間となります。


申請者の条件

申請者に求められる条件

- ・ 英語に堪能であること
- ・ リーダーとしての優れた資質
- ・ 平和や紛争解決の分野に貢献した経験
- ・ 年齢制限なし

修士号プログラム
関連分野における3年以上の職歴

専門修了証プログラム
関連分野における5年以上の職歴、および平和推進を目的とした自分の計画がどのようにロータリーの使命と合致するか説明できること



ご覧の通り、他の奨学金制度とは異なり、平和構築に直結する人材の早期育成を目指した内容となっております。

先ほどのビデオでも説明ありましたが、フェローに選抜されるのは大変に難関であり、選ばれたフェローの方々には非常に優秀な人ばかりです。

フェローシップの資金

平均授与総額

修士号プログラム : 80,000米ドル

専門能力開発修了証プログラム : 11,000米ドル

<p>修了証プログラムで賄われる費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業料 ・ 部屋代と食費 ・ 留学先への(留学先からの)旅費 ・ インターンシップの費用 ・ 学会/研究費用 ・ 保険 ・ 不測の事態の出費 	<p>専門能力開発修了証プログラムで賄われる費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業料 ・ 学内の宿泊施設 ・ 留学先への(留学先からの)旅費 ・ 実地研修の経費 ・ コース資料 ・ 保険
---	--

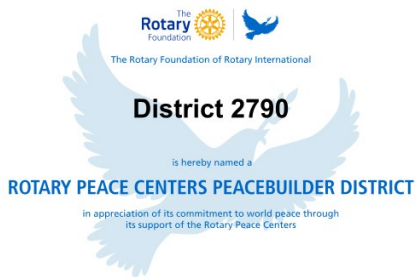
第2790地区は毎年DDF(地区財団活動資金)から25,000ドルを寄贈



フェローシップの資金は、やはり我々ロータリアンからの寄附金で賄われています。

毎年、日本全国のロータリアンから1人15円の寄付をいただいた約130万円を

核被爆国日本ならではのプログラムである、広島研修旅行に使われます。



第 2790 地区では毎年 25,000ドルを DDF(地区財団活動資金)から寄贈しており、当地区は平和推進地区に指定されています。



TITLE 1 8

国際基督教大学



日本の平和センターのご紹介です。東京三鷹の国際キリスト教大学に設置されています。



TITLE 1 9

このプログラムの推進のため、東京 2 地区(2750/2580)、神奈川 2 地区(2590/2780)、埼玉 1 地区

ホストエリア連絡協議会



(2770)、そして我々第 2790 地区の計 6 地区が「ホストエリア」を構成しており、分担してフェローの世話を受け持つて居ます。年4回、東京芝公園にあります第 2750 地区ガバナ―事務所等がある黒龍芝公園ビルに各地区の平和フェロー委員が集まり「ホストエリア連絡協議会」を開催しています。他県のロータリアンと繋がりを持つてる大変有益な機会であります。



TITLE 1 10

卒業論文発表



ホストエリアの仕事は、来日したフェローと、カウンセラーをお願いするロータリアンに向けたオリエンテーション開催に始まり、フェローの住居手配、生活の困りごと対応などです。毎年の行事として最大のものは、核被爆国ならではのプログラムである広島研修旅行であります。



TITLE 1 11

す。

その他、各地区持ち回りで日本文化を知るレクリエーション的な交流会を開催しております。

毎年6月にフェローの研究発表を兼ねた年次セミナーと、卒業祝賀会が開催されます。



毎年6月にフェローの研究発表を兼ねた年次セミナーと、卒業祝賀会が開催されます。

19期生、カウンセラー、ICU ロータリー平和センター長、ホストエリア連絡協議会役員のメンバー、ロータリー平和センター広報アンバサダーの方々



幅広い年齢・経歴の方がいるのも平和フェローの特徴で、19期生のオリヴィアさんは元ユニセフ職員です。

残念ながら19期生はコロナ渦により1名しか来日できていません。現在皆さんオンラインで受講されていました。

過去に来日したフェローの中には紛争当事国の方もいます。実際、目の前で親類が反政府ゲリラに殺害されたというような経験を持つ方もいて、そういう方の「自国の治安を少しでも改善したい」という意気込み・想いは並々ならぬものを感じました。

申請方法

- rotary.org/ja/peace-fellowshipsで申請資格を確認
(申請は2月に受付開始)
- 各ロータリー平和センターのカリキュラム・プログラムを確認
(申請書には、志望する平和センターを修士号プログラムの場合は二つ、修了証プログラムは1つまたは二つ、志望順に入力する)
- 地元クラブまたは地区と連絡を取り、申請手続(面接、推薦を含む)を確認
- 地元のクラブを[クラブ所在地検索](#)で探し、ロータリーの活動に参加
- オンライン申請書に必要事項を入力し、5月15日までにRIに提出
(ロータリー財団による選考の結果は11月に通知)
- 選出された平和フェローは、別途、提携大学に入学申請を提出



プログラム参加申請手続きでは、地元のロータリー地区と協力する必要があります。

簡潔に述べておきます。

申請受付は2月から開始、5月15日締め切りです。

申請者は地区、地元クラブと連絡を取りながら手続きを進めて下さい。

地区による推薦を得た後、7月1日までに地区

からロータリー財団に申請書を提出します。

7月から10月にかけて、ロータリアンと提携大学の代表者からなる平和センター委員会による選考が行われます。

結果は11月に通知されます。フェローとして選ばれたら、各大学への入学申請を行います。

平和の願いはきっとかなう！



お問い合わせ
rotarypeacecenters@rotary.org

以上、ご清聴ありがとうございました！

14:35 ラーニング:クラブの資格認定 (ビデオ 5:38)

クラブの資格認定については財団室が作成したラーニングビデオがありますので上映させていただきます。



ロータリーカードを利用して
世界でよいことをしよう



11月に神戸で開催されたロータリー研究会で利用したロータリーカードの資料で説明させていただきます。

ロータリーカードのご案内

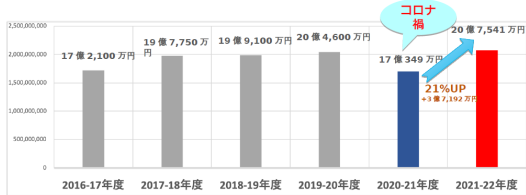


ロータリーカード歴史

2000年9月	2003年2月	2013年7月	2016年2月	2017年3月
VISA Card 個人	MasterCard 個人 (オリコ)	MasterCard 法人 (オリコ)	Diners Club クラブカード	Diners Club 個人
米国で誕生!	日本で誕生!	法人向け!	世界初! 地区・クラブ・委員会専用	高額決済カード!

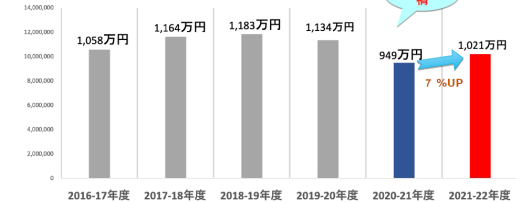


ロータリーカード利用額の推移



推進委員設置の効果
例会・セミナー等減少の影響を受けても利用増額

ポリオ根絶への活動資金額の推移

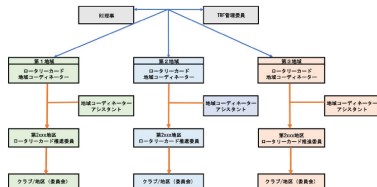


推進委員設置の効果
例会・セミナー等減少の影響を受けても利用増額

各種カードの利用例



推進委員会 組織編成について



ロータリーカードの歴史は2000年にアメリカでVISAのロータリーカードができました。

日本では2003年オリコのロータリーカードができました。

現在はダイナースカードも加わっています。

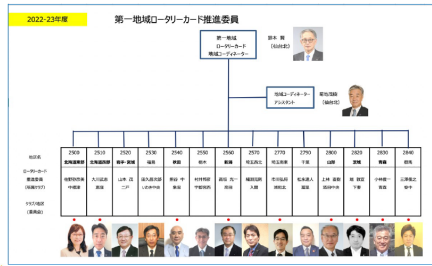
ロータリーカードの利用額は20-21年度コロナにより利用額が減りましたが、21-22年度はコロナ前より利用額が増えています。

ポリオ根絶への活動資金額も21-22年度は1021万円と増えています。これは各地区に推進委員を設置したことによります。

クラブカードの利用は特に人頭分担金、例会の会場費などわざわざ銀行に振り込みにいなくてよく振込料もいらないので利用価値があります。

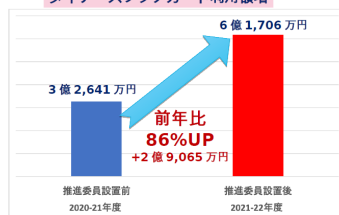
地域ロータリーカードコーディネーターはロータリー章典29.010地域リーダーには含まれませんが日本では独自な取り組みをしています。地区リーダーの地域と同じ、千葉県は第1地域に所属しています。

14 地区



第1地域は14地区あり2790地区の推進委員はロータリーポリオ委員会委員長の松永さんが兼任しています。

地区・推進委員による
ダイナースクラブカード利用増



地区進委員の活躍によりダイナースクラブカードの利用が前年比86%アップしました。

2021-22 年度 表彰および実績報告

ロータリーカード・個人/ビジネスカード部門
上位3クラブ (オリコカード)

(円)

地域	クラブ名	利用実績	クラブ名	利用実績	クラブ名	利用実績
第1地域	1位 柏西	18,753,053	2位 南相馬	10,117,066	3位 いわき常盤	9,073,625
第2地域	1位 甲斐	9,578,150	2位 茅ヶ崎	8,763,812	3位 川崎マリーン	8,207,399
第3地域	1位 岡山南	30,226,102	2位 岡山東	7,717,340	3位 井原	7,635,693

21-22 年度オリコロータリーカードのクラブ利用実績の発表がありました。

第1地域の1位は柏西クラブでした。水野さんが登壇し、RI 会長から表彰を受けました。

2021-22 年度 表彰および実績報告

ロータリーカード・クラブ/地区/委員会カード部門
上位3クラブ (ダイナースクラブ)

(円)

地域	クラブ名	利用実績	クラブ名	利用実績	クラブ名	利用実績
第1地域	1位 浦和	16,979,740	2位 千葉	10,333,930	3位 川口	9,098,802
第2地域	1位 東京中央	36,623,426	2位 名古屋北	18,806,807	3位 東京山の手	15,997,505
第3地域	1位 大阪南	26,273,972	2位 大阪西	19,512,322	3位 大阪御堂筋本町	8,799,313

21-22 年度ダイナースロータリーカードのクラブ使用実績の発表がありました。

第1地域第2位は千葉クラブでした。

2021-22 年度表彰および実績報告

ロータリーカード・クラブ/地区/委員会カード部門
上位3地区(ダイナースクラブ) (円)

地域	地区名	利用実績	地区名	利用実績	地区名	利用実績
第1地域	1位 2790	74,261,257	2位 2770	33,906,670	3位 2560	19,375,349
第2地域	1位 2750	183,370,760	2位 2760	104,808,464	3位 2780	6,817,638
第3地域	1位 2660	69,593,791	2位 2690	13,388,717	3位 2650	10,298,419



21-22 年度ダイナースロータリーカードの地区使用実績の発表がありました。

第1地域は2790地区で小倉ガバナーが登壇し表彰を受けました。

私は地区・クラブのダイナースロータリーカードは年会費無料で会長・委員長が変わる1年単位で契約できます。

単年度に大きな金額を支払うとカードを使用すれば振り込み作業と振込料がかからないでポリオにも寄付ができるので推奨いたします。

15:45 質疑応答

ガバナーより: 奉仕プロジェクト統括委員会の「TSUNAGU」は地区補助金と連動しているのか?

統括副委員長: 国際奉仕委員長からのお話では3月末に申請し4月に審査を行うと聞いています。

その為、地区補助金審査より少し遅いため別々のもの考えてほしい。連動させるためには地区補助金審査より早めに「TSUNAGU」を審査すれば今後連動できると思う。

パストガバナーより: 人道的国際奉仕の自己資金30万円に対して補助金60万円はなんでなくなったか?

統括副委員長: 人道的国際法奉仕の特別措置は時限的に補助金を使用を活性化するもので、今回アンケートの結果、一律補助金の上限をあげるご意見が多かった。

パストガバナー: 小さなクラブが大きなプロジェクトができ対応をお願いしたい。

統括副委員長: 今後検討させていただきます。

16:00 注意事項のお知らせ(重要事項)

- 1) MOU を提出していないクラブは、鶴沢ガバナー事務所に提出してください。
- 2) 車で来られた方は受付にある、無料駐車券を受領してください。

16:05 総括と点鐘

ロータリー財団統括委員長 漆原 摂子

補助金管理セミナー出席表

G	クラブ名	会場	オンライン	2022-23クラブ会長	2023-24クラブ会長	2023-24クラブ財団委員長	その他	MOU 地区委員
1	市川		2		佐脇 浩	池田 龍二		
	市川東	3	1	上杉 健志	黒田 和宏	幹事 本田真郷	遠藤 敏雄	
	市川南	1	1	長井 弘亘	荒井 正晴			
	浦安	1	1		福田 秀人	周藤 行則		
	市川シビック	2	3	大塚 恵二	井上 喜久男	長谷川泰士	奉仕 宮本 勇人	山崎AG
	浦安ベイ		2	月居 竜吾	大塚 孝典			
2	船橋	1	1	清水 孝	廣田 健治			
	船橋西		3	中村 亮	前田 昌夫	嘉規 洋		
	鎌ヶ谷	3		高田 洋志	大澤 茂	長濱 芳一		
	船橋東	1	2	中村 和一	三須 榮光	鈴木 恭浩		
	船橋南		1	平野 信夫				
	船橋みなと	1	2	成井 道也			中野 洋介	
3	千葉	1	2	川崎 鉄男	鈴木 定徳	櫻井 真人		
	新千葉	3			中山 雅照	稲葉 良一	幹事白鳥真	
	千葉西	2	1	花嶋 実	長坂 圭将	花嶋 実(兼)		海賢AG
	千葉中央	3		柳 相照	松本 俊英		矢野憲治	
	千葉幕張	3	1	尾形 文貴	始平堂 玄昌	原 啓介	高橋 潤一	
	千葉東		2	江上 俊彦	田中 仁一	江上 俊彦(兼)		
	千葉若潮	3		原田 宗広	村田 秀樹	原田 宗広(兼)	ローターアクト清水 隆	
	千葉南	2			水野 浩利		幹事 今井 太志	
4	市原	2			石井 亮介	檜垣 昌宏		
	千葉港	1	3	林 正弘	高橋 英雄	鈴木 芳明	船木 幹夫	
	市原中央		1		宮田 元			
	千葉北		1		吉田 武司			
	千葉緑	1	1	永杉 隆介	長谷部 進			
	木更津		2	大村 富良	大川 健士			野村AG
5	上総		1					
	富津中央	1	1	須藤 隆	若鍋 武良	須藤 隆(兼任)		
	木更津東	2	1	大里 光夫	堀内 正人(財団)		近藤 直弘	
	君津		4		福田 順也	中野 賢二	高橋雄一、佐々木昭博	
	袖ヶ浦							
	富津シティ	1	2	その他委員 阿部 信一	和田 充敏		立石 泰文	
6	館山	1			利田 秀男			
	鴨川		3	渡辺 淳一	伊藤 正人		奉仕 亀田 美穂	中村AG
	勝浦		2				青少年 水野 正則	
	千倉							欠席
	鋸南	4		中邑 明俊	吉岡 諭史	清水 一成	幹事 堀田 了誓	
	館山ベイ		1		佐野 晴信			
7	茂原	2	2	幹事 高橋 和伸	三谷 徹	山田 則彰	社会奉仕 渡辺 智志	
	東金	2	2	徳倉 基宏	菅原 裕輔	小林 信雄	秋葉 芳秀	
	大原		2	吉田 正子	浅野 吉朗			
	大多喜							欠席
	成田空港南		2		倉石 昌治		国際奉仕 鈴木 匡哉	
	茂原中央	3			杉江 敏矢	横堀 喜一郎(財団)	幹事 居村 龍二郎	
8	大網							
	東金ビュー		1	安藤 泰健				
	銚子		1				国際奉仕宮内 秀章	欠席
	旭							
9	八日市場	2			菱木 智仁		幹事 大久保 要治	
	銚子東		1	石毛 園子				
	佐原		1			小森 康雄		
	多古		1	鎌形 憲一				
10	小見川		1		花香 勲			欠席
	佐原香取							
	成田	2	1	平山 秀樹	甲田 直弘	笠原 智		
	八街		1	竹村 信彦		竹村 信彦(兼)		
	印西		1	鈴木 治美				
	白井	1			伊藤 善典			
11	富里	3		宮内 美津男	村上 亮		幹事長 原 幸司	
	成田コスモポリタン	2	4	神谷 修一	田中 英之	萩原 康宏	澤田・菊池・岩澤	
	柏	2			落合 一美	今山 利猛		
	我孫子	1	3	藤本 行宣	倉持 洋平	小野 武弘	日暮保巳	
	柏西		2		ゲイビ アデル	安田 勝紀		
	柏東		1			藤原 泰治		
12	柏南		2	荒木 知太郎			クラブ幹事 米谷 昌紀	
	習志野	2	2	弓削田 邦夫	渡邊 健敏	弓削田 邦夫(兼)	藤井 謙逸	
	八千代	2			君塚 欣哉	古川 洋		
	佐倉		2	橋爪 卓博			会長エレクト黒澤達哉	
	八千代中央		1		土屋 信之			
	四街道		2				村山、佐藤将司	
13	習志野中央	2		中島 広明		鶴岡 健一		
	佐倉中央	1	3	萩原 勇作	齋藤 初美(財団)	橋岡 久太郎(RRC)		野池AG
	松戸		4	湯本 高之	大田原 慎一	鰐部 博明	織田幹事長	
	松戸東		2		石田 庄一郎			高橋AG
	松戸北	3	1	大川 高明	小澤 直之	副会長 野澤 新之助	社会奉仕 大塚 精一	
	松戸中央		2	浦 昭二郎	入木田 健一			
14	松戸西		2	山本 沖	関口 貴之			
	野田	3		浅野 泰泉	三浦 直哉	大澤 康人		
	流山		2	石川 智也	志見 壮一			
	野田東							
	流山中央	1	1		池田 健太郎	野口 宏一		
	野田セントラル		3	高山 聡宏	栗原 利夫	森田精司		
習志野中央								
千葉科学大学	1			佐藤 洋平				
市原中央		1	タテイトウ ハン					
千葉マリン								
佐倉中央		1		椿 拓也				
鴨川								